東京2025世界陸上事前キャンプ実行委員会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、東京2025世界陸上事前キャンプ実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、東京2025世界陸上に出場する海外代表選手団の事前キャンプ（以下「事前キャンプ」という。）を受け入れるために必要な事業を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 事前キャンプ受入に係る事業計画の推進に関すること。
- (2) 事前キャンプの受入体制（選手等の輸送、宿泊、練習環境確保、通訳手配、維持衛生及び警備防災等）の整備に関すること。
- (3) 選手、役員等と県民との交流に関すること。
- (4) 関係団体との連絡調整に関すること。
- (5) その他実行委員会の目的を達成するために必要な事業に関すること。

第2章 組織

(組織)

第4条 実行委員会は、会長及び委員をもって組織する。

2 会長は、鳥取県知事をもって充てる。

3 委員は、事前キャンプ受入に係る機関及び団体の役職員等のうちから会長が委嘱する。

(役員)

第5条 実行委員会に、会長のほか次の役員を置く。

(1) 副会長 2名

(2) 監事 2名以内

2 副会長及び監事は、委員のうちから会長が指名する。

(役員の仕事)

第6条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長の指名した副会長がその職務を代理する。

3 委員は、実行委員会の運営のために必要な事項を審議する。

4 監事は、実行委員会の財務を監査する。

(任期)

第7条 委員及び役員の任期は、実行委員会設立の日から実行委員会の目的が達成されたときまで

とする。ただし、特別な事情があるときは、この限りでない。

- 2 前項の規定にかかわらず、会長、副会長、委員及び監事が、就任時の機関及び団体の役職を離れた場合は、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

第3章 総会

(総会)

第8条 総会は、会長、副会長及び委員をもって構成する。

- 2 総会は、必要に応じて会長が招集する。
- 3 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 事前キャンプ受入に係る事業計画に関すること。
 - (2) 予算及び決算に関すること。
 - (3) 規約の制定及び改廃に関すること。
 - (4) その他事前キャンプ受入に係る重要な事項に関すること。
- 4 総会は会長、副会長及び委員（以下「委員等」という。）の過半数の出席をもって成立する。
- 5 総会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 6 やむを得ない理由のため総会に出席できない委員は、代理人に表決を委任するか、又は書面で議決に加わることができる。この場合、前2項の規定の適用については、出席したものとみなす。
- 7 会長が必要と認める場合、事前に送付した議案に対して書面をもって表決し、総会の議決に代えることができる。

第4章 専決処分

(会長の専決処分)

- 第9条 会長は、総会を招集するいとまがないときは、その議決すべき事項について、専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決をしたときは、これを次の総会等において報告し、その承認を求めなければならない。

第5章 事務局

(事務局)

- 第10条 実行委員会の事務を処理するため、鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課及び鳥取市教育委員会事務局生涯学習・スポーツ課に事務局を置く。
- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

(経費)

第11条 実行委員会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

(監査)

第12条 監事は、実行委員会の決算について監査し、総会に報告しなければならない。

(会計年度)

第13条 実行委員会の会計年度は令和7年6月3日に始まり、令和8年3月31日をもって終わる。

2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 解散

(解散)

第14条 実行委員会は、第2条に規定する目的が達成されたときに解散する。

2 実行委員会が解散した場合において、その残余財産の処分については、鳥取県において決定する。

第8章 補則

(委任)

第15条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、令和7年6月3日から施行する。